

建設産業常任委員会

《中郷行政区》

町へ提言&議会で取り上げるべき内容

1. 通学路

町道 96 号線については、防塵舗装のため歩行しづらく、また、水たまりもできるため、それらの解消に向けた工事が必要である。

また、県道氏家上高根沢線は、大型車両の交通量が大変多く、自転車通学には大変危険であり、歩道と自転車道の区分をする必要がある。

これらの改善のために、行政へ提言ができるよう取り組んでいく。

2. たんたんくんの安定供給など

土づくりセンターの稼働停止により、農家の皆さんに代替堆肥を斡旋して対応している。

合わせて町は、土づくりセンターを「簡易な施設にして整備する」または「廃止する」の二つの方針を打ち出して検討している。

今年の 8 月までにはその方針が固まる予定であり、先進施設等を研究していく。

3. 農振除外

農用地区域内の農地について、担い手への利用集積に支障を及ぼすおそれがある場合には、農用地区域からの除外を行うことができない等、厳格に規制されています。

このような制度のもと、本町において、住宅を増やすための農振除外が実施できるかどうか研究していく。

議会で取り上げる&調査・研究が必要

1. 農振除外

同上

2. 商店がない

クリエイターズ・デパートメントにおいて、お試し創業施設に入居しているお店が、今後空き店舗へ入居できるよう研究をしていく。

調査・研究

1. 道の駅

元気あっぷむらの経営状況が大変厳しい中、負の遺産となる前に早急に立て直さなければならない。

そのため、道の駅というブランド力を使うとともに、回遊・滞在できる機能として、浴室・脱衣所の改修や本館前にトレーラーハウスの店舗を含めた交流広場、親水公園にトレーラーハウスなどのグランピング施設を整備する予定である。

「元気あっぷむら」という拠点を利用する地域住民と拠点に訪れる人が交流できる環境を整備することで、本町への人の流れの促進、転出抑制へつなげることができるか研究していきます。

2. 農地

「人・農地プラン」での取り組みを支援しつつ、担い手農家への農地集積による土地利用型農業の経営基盤の強化を図るとともに、農地の遊休化を防止し、農地の有効利用に取り組んでいくかなければならないことから研究していく。

《北小学校結社》

町へ提言&議会で取り上げるべき内容

1. 道路修繕・舗装

仁井田駅前広場は JR の土地であり、町道との境界を確認する必要があるとともに、財政状況を勘案しながら整備を進めることが必要である。

また、旧県道の南側に位置する仁井田住宅街の 4 m 以下の道路整備については、地域住民の賛成と協力がないと進めることが難しいことから、研究していく。

2. 宝積寺駅東口道路

送迎の混雑時は、タクシーも停車しているとロータリーへ進めないという状況であることから、研究して、行政へ提言できるよう取り組んでいく。

3. 水道管

個人の水道管が民有地を通る水道管に接続しているなど、町の水道管に接続する場合の負担が大きい状況です。

また、水道代については、施設の老朽度や地震等を考慮し、計画的に施設を更新及び耐震化する必要があるため、多額の費用を要するため、値下げをすることは難しい。

なお、県内における水道代の比較では本町は中位である。

4. 元気あつぷむらの道の駅化

中郷行政区欄と同じ

5. 避難所

水害時、避難所となっている北小学校では床上浸水してしまう恐れがあるため、代替施設を用意できるかどうか研究していく。

6. キリンビール所有地

小動物等対策は、キリンビールが会社として定期的に管理しています。

7. 商店街の活性化

ちよっ蔵広場を活用したイベントに出店したお店へ商店街の空き店舗に出店して頂けるようアプローチしていくとともに、クリエイターズ・デパートメントでお試し創業施設に入居しているお店へも今後空き店舗へ出店していただけるよう研究をしていく。

8. 人口対策

宝積寺の住宅造成は、町の区画整理事業及び組合方式の区画整理事業として実施しており、どちらも地域住民の合意が最優先であることから、仁井田地区においても区画整理事業ができるかどうか研究していく。

議会で取り上げる&調査・研究が必要

1. 企業誘致

本町においては、産業団地が少なく、働き口も少ないことから、キンビール所有地である広大な更地に、優良企業を誘致すべく調査・研究をしていきます。

また、市街化調整区域に工業用地を開発する行為については、栃木県の許可が必要のため、今後研究していきます。

2. 農業

「人・農地プラン」での取り組みを支援しつつ、国の交付金等を活用するなどして、農業の持続性確保のため、新規就農者・後継者の育成に取り組めるよう、研究していきます。